

会 議 録

1 会議名

令和7年度第4回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

- (1) 「諮問第100号 牧中学校の廃止について」の市長への答申結果について
- (2) 令和7年度地区懇談会の開催について

○自主的な審議（公開）

- (1) 令和7年度4区地域協議会委員合同研修会の開催結果について
- (2) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

3 開催日時

令和7年7月31日（木）午後6時30分から午後8時17分まで

4 開催場所

牧区総合事務所 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名

- ・ 委 員：西山会長、清水副会長、飯田委員、池田委員、井上委員、河野委員、
西條委員、羽深委員、宮内委員
- ・ 事 務 局：牧区総合事務所 小林所長、岩崎次長、清水市民生活・福祉G長兼教育
・ 文化G長（以下G長）、小暮地域振興班長、霜越地域振興班主事

8 発言の内容（要旨）

【岩崎次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認し、会議の成立を報告

【西山会長】

・挨拶

【小林所長】

・挨拶

【西山会長】

・会議録署名委員として池田委員を指名

報告事項(1)について、事務局から説明をお願いします。

【小暮班長】

・資料 No. 1 に基づき、「諮問第 1 0 0 号 牧中学校の廃止について」の市長への答申結果について説明

【西山会長】

今ほどの説明で、質問等があればお願いします。

(質問等なし)

質問等がないようなので、報告事項(1)を終了する。続いて、(2)について、事務局から説明をお願いします。

【小暮班長】

・資料 No. 2 に基づき、令和 7 年度地区懇談会の開催について説明

【西山会長】

今ほどの説明で、質問等があればお願いします。

【井上委員】

話題提供で出される話題はとても良い内容だと思う。それ以外に、昨年まであった参加者の意見や要望を聞く時間はあるか。

【小暮班長】

意見交換の時間を設けている。地域の皆様からご意見やご要望を頂戴できればと思う。

【西山会長】

他に質問等はないか。

(質問等なし)

質問等がないようなので、これで報告事項(2)を終了する。

続いて、自主的審議事項(1)について、事務局から説明をお願いします。

【小暮班長】

- ・資料 No. 3 に基づき、令和 7 年度 4 区地域協議会委員合同研修会の開催結果について説明

【西山会長】

今ほどの説明で、質問等があればお願いします。

【井上委員】

今回の地域自治推進プロジェクトに係る意見交換会は、地域政策課が全区の地域協議会を回っていると聞いているが、出された意見の集約は後で何かの形になるのか。

【小林所長】

今回は地域政策課が各区やブロックの委員の皆様のもとに伺い、ご意見をいただいている。それらをすべて取りまとめた上で、今後、市として再び検討していく流れになっている。今は委員の皆様からご意見をお聞きするという段階である。適宜、皆様に報告しながら検討を進めていき、今年度中には整理を終える予定である。

【井上委員】

地域によって特色あるいろいろな意見が出る一方で、全体で統一しなければならないところもあると思う。地域政策課が取りまとめたものは、全体で統一した内容になるのか、その地域の特色を生かす内容になるのか。

【小林所長】

まだ分からないが、それについて意見交換を行っていくことになると思う。

【西山会長】

他に質問等はないか。

(質問等なし)

質問等がないようなので、自主的審議事項(1)を終了する。続いて、(2)について、事務局から説明をお願いします。

【小暮班長】

- ・資料 No. 4 に基づき、あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について説明

【西山会長】

今ほどの事務局の説明に対し、質問や意見等があればお願いします。

また、この三本柱で今後必要となる具体的な取組について、意見がある方は発言をお願いします。

【井上委員】

組織の下支えというのは分かりにくい言葉ではあるが、牧にあるいろいろな組織の体制を整えて、連絡調整や具体的な提案等で支援して束ねていくことは、人口が減っている現状を考えると良いことであり、誰かしらがこのようなことを行わなければならないと思う。

第5期の地域協議会では、三本柱の整理ができた。このうち外出支援についての議論は、市が行う予約型デマンドバスの運行、牧振興会が行う買い物支援の仕組みができたことで一段落しているが、それも含めた三本柱全てについて、今の状況を踏まえて、改めて具体的に必要な取組を考えて、実行することに力を注いでいくということか。もしそうならば、誰かがいずれはやらなければいけないことなので、とても良いと思う。

【小暮班長】

自主的審議事項は、令和3年度から議論を続けてきており、具体的な取組を考えていく段階ではないかと事務局は考えているので、委員の皆さんからどのような取組があるか提案をいただきたい。その中で、市が取り組むべきものや、地域の団体の皆様に担っていただきたいもの、さまざまなものがあると思う。実現できるものとできないものがあると思うが、まずはいろいろなご意見を頂戴したい。

【飯田委員】

今の体制から一步前に出て、行政や地域の団体がこんなことをやってはどうだという投げかけをするくらいでないといけないと思う。そうすると、体験・移住や農業・林業分野、外出支援の分野とどこかが結びつくと思う。その際に、地域協議会が中心となるのか、各団体がそれを調整するようになるのか、そのような意見を出してほしいと思う。

【池田委員】

3月の意見交換会では、コロナ禍を経て、越後田舎体験協議会を通して牧区に来る方が減っていることを聞いた。また、来る方を受け入れることができる方も減っているそう。越後田舎体験協議会の方と協力させてもらい、例えば、空き家を使って田舎体験の受入れを行い、来た人で興味がある人がいれば、また牧に来ませんかイベントに勧

誘して、空き家の紹介を行って、移住・定住につなげられるのではないかと。

【小暮班長】

今、池田委員からご提案いただいたようなことを、ぜひ委員の皆様から出していただきたい。次回は、それらを整理したものを見ながら、現在、この取組はこうなっているとか、こういうことも必要ではないかという意見が出てくれば、それは適宜の見直しという部分で追加していくので、今日をもって提案を締めるというものではない。

【小林所長】

春に清水副会長から提案のあった、まずRMO組織を作るというのは、進めるには大変難しい。少しずつ動かしていくために、事務局としては、自主的審議事項の三本柱に関し、具体的な取組と実際に実施する団体を挙げ整理していくことで、それが支えとなる組織となるのではないかと考えている。現在は実施する団体がそれぞれ取組を行っているが、これが数年後には今までの体制では動けなくなった時に、これらを整理する必要性が出てくると思う。将来は、農業や農業以外の組織が一緒になり、新たな組織が出来上がるのではないかとと思う。

まずは、皆様の考える取組の意見をいただきたい。

【河野委員】

私は一度牧区を出て、また戻って来た経験がある。ずっと牧区で住んでいる方よりも、牧区に来たいという気持ちが分かるかもしれない。牧区の良さをどのように皆さんに知っていただくのが良いかと考えているが、牧区のイベントをPRし、牧区の良さを多くの人に知ってもらうのも大事だと思って動いている。

【西條委員】

これまで牧区に移住された方に、どうして牧区を選んだのか、どこが良いと思ったか、何が課題だと思うか等を聞いてみたい。牧区に移住してこられたということは何かしらの魅力を感じられたのだらうと思うので、そういう方々との意見交換は大事だと思う。

また、空き家を利用した体験施設や移住検討施設を作ってはどうか。お金がかかるからと言われるが、まずは投げかけてみることも必要だし、牧区に移住したいが働き口がないという方には良いと思う。都会から地方に移住している方を紹介するテレビ番組が土曜日に放送されている。そこで紹介される方は、地方の有名なところではなく、こんなところの何がいいのだらうと思うような場所で、楽しんで生活している。それも、牧

区にとってはヒントになるのではないかと思います。

農業・林業では、希望する個人や団体に田んぼの貸し出しを行ったらどうか。また、畑や山林の一部を使って何かやってみたいという人がいたら、少し貸してあげるよ、というような取組を行ったら面白いのではないかと。

他には、牧区の米を使っている名古屋のレストランがあるが、そういう場所から牧区の米は本当に美味しいということを知らせたり、雪太郎大根は直江津のホテルで使われているので、それをブランド化したりしてはどうか。そのようなPRを生産者だけに任せるのではなく、私たちもアイデアを考える必要があると思う。

外出支援については、よく買い物支援の話題が出るが、近所同士で助け合ってはどうか。20年前の話になるが、当時の町内会長が、自分の乗用車に近所の人を乗せて市内のいろいろな温泉で降ろして、また帰りに迎えに来るということを行い、とても喜ばれていた。乗せてもらっていた方はとても楽しみにしていて、そのようなことも外出支援の取組になるのではないかと思います。

最後に、若い人はアイデアや行動力があっていいと思うが、今の牧区は若い人が少ない。そこで、地域の課題を一番よく知っている町内会長と協力したり意見交換をしたりしながら、何が問題で、何ができるかを考えたらどうか。そして、町内会長としても、地域協議会に提案したらこういう結果になったということができると思う。

【羽深委員】

私は民生委員もしていて、高齢者のお宅に伺うことがある。コミュニティバスを利用されている方もいるが、病院に行くのが大変だという話を聞く。新潟県ではないが、以前テレビで近所のおばあちゃんたちを乗せて連れて行っている話を知った。人を乗せることは責任を伴うが、困っている人からすると、外出支援はとてもありがたいのだと思う。

市では、バスやタクシー代を助成する制度があるが、助成額が年間9千円くらいの規模なので、タクシーを利用するとすぐに使い切ってしまう。そこをもう少し拡充することを検討していかなくてはならないと思う。

コミュニティバスについては、他の区から、とても良い制度だと評価されている。

【宮内委員】

体験・移住について、例えば十日町市では、3年に1度大地の芸術祭を開催していて、

私も毎回見に行っている。そこには、遠くから何回も通われる方もいて、ボランティアの方も多し。そして、大地の芸術祭が好きで、移住して来られる方もいるようだ。

移住で人を呼んでくるには、地域として特長を持たないと難しいが、他の地域と同じ取組を行っても仕方がない。

そこで、去年の地域協議会の視察研修で、高尾の古民家を改装した宿泊施設を見て、オーナーから話を聞いた。そのオーナーの方をお願いして、高尾だけでなく牧区のいろいろなところにそのような古民家を改装した宿泊施設を作ってもらえるのはどうか。そして、そこに泊まった方が牧区は良いところだと感じて、移住につながってくれば良いと思う。

【清水副会長】

最近、米不足が問題になっているが、なぜそうなったかを分析せずに、ただ米の価格を下げればよいという解決の仕方はおかしいと思う。米の価格を下げるのではなく、作る人を支えていくことが必要だ。

現在の上越市の潟水では、牧区の水を隣の地域に回すための仮設工事が始まっている。牧区は、それだけ水資源が豊富にあるということであり、そういった特徴をいかして、例えば、食料保険のような仕組みを作るのはどうか。都会に住む人で、資源が豊富な牧区の食べ物が欲しいという人に、予め加入してもらい保険のような仕組みを作ることで、情報発信につなげていくことが必要だと思う。

また、先ほど他の委員の意見にもあったが、農業体験と空き家を活用した取組の組み合わせを検討していかないと、牧区が終わってしまう危機的状況だと思う。

【西山会長】

少しでも牧区をよくするにはどうしたらいいか、今後も議論をしていかなければならないと思うので、引き続き皆さんの意見を聞かせていただければと思う。

【小暮班長】

本日欠席されている委員からも、別途意見をいただくこととしたい。また、本日出席されている委員の方も思いついたことがあれば、随時事務局にご意見をいただければと思う。

事務局では、いただいたご意見を整理して、次回の地域協議会で皆様から審議いただきたい。

【西山会長】

事務局の説明のとおり、いただいた意見を次回の協議会において議論することとし、
以上で自主的審議事項を終了する。

続いて、その他連絡事項について、事務局から説明をお願いします。

【霜越主事】

- ・ 次回の地域協議会の開催日：8月21日（木）
- ・ 高田区地域協議会の意見書、金谷区地域協議会の意見書の配布
- ・ 上越市男女共同参画推進センターからのおたよりの配布

【西山会長】

本日予定していた案件は全て終了した。清水副会長に閉会の挨拶をお願いします。

【清水副会長】

- ・ 挨拶後、会議の閉会を宣言

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください